

ライターによる火災事故を防止しましょう!!

～ライターの火遊びによる火災を防ぐには、周囲の大人の注意が欠かせません～

⚠️ 子どもの手の届かないところにおきましょう

家中、車の中にライターを放置せず、子どもの手の届かない場所にきちんと保管しましょう。

⚠️ 子どもに触らせず、火遊びの危険性を教えましょう

子どもがライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせましょう。

理解できる年齢になったら、家庭や学校で子どもに火遊びの危険性を教えることも大切です。



⚠️ 不要なライターはきちんと捨てましょう

利用しなくなったライターが、ありませんか？

※年間約6億個のライターが国内生産及び輸入されています。

[出典]平成20年国内需要動向調査報告書(喫煙具) (社)日本喫煙具協会

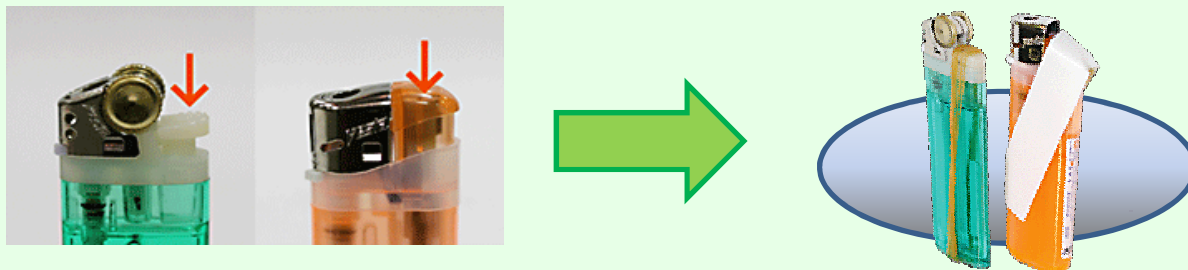


ガスが残存するライターの廃棄を原因とするごみ収集車の**火災事故等**も発生しています。

ライターは使い切るかガス抜きをして、各自治体のルールに従って正しく廃棄しましょう。

ガスの抜き方の例

(注)火の気のないことを確認し、風通しのよい屋外で行いましょう。



周囲に**火の気のない**ことを確認する。

操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。

輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままのレバーを固定する。

シューという音が聞こえれば、ガスが噴出している（聞こえない場合は炎調整レバーをプラス方向にいっぱい動かす）。

この状態のまま付近に**火の気のない、風通しのよい屋外**に半日から1日置く。

念のために着火操作をして、火が着かなければ、ガス抜きは完了です。

(参考：(社)日本喫煙具協会HP <http://www.jsaca.or.jp/info/throw.html>)